ハイブリッド | 参加費無料

京都大学桂キャンパス桂ホールまたは オンライン

2024.11.29 FRI 13:00

第5回光量子センシングワークショップ

～ 光量子センシングと先端光計測の協奏 ～

オープニングトーク

「拡がる光量子センシングの世界」 竹内 繁樹（京都大学）

Q-LEAP最新成果紹介

「時間分解量子赤外分光に向けて」 向井 佑（京都大学）

招待講演

「光干渉断層計（OCT）の最前線」 辻川 明孝（京都大学）

「計測インフォマティクスの発展と展開　ー情報計測から革新的計測解析へー」 鷲尾 隆（関西大学）

量子技術を利用した計測・センシング技術は近年大きな注目を集めています。2018年に始まった文部科学省による「光・量子飛躍フラッグシッププログラム（Q-LEAP）」の基礎基盤研究グループの活動の一環として、産業界や大学等の若手研究者・技術者をはじめ幅広く光量子センシングに理解を持って頂くために本ワークショップを毎年実施しています。第５回目となる今回は、「光量子センシングと先端光計測の協奏」のテーマで、量子計測に関連する最新の研究を紹介いたします。また、本ワークショップは、共催の京都大学卓越大学院プログラム先端光・電子デバイス創成学の「2024年度第5回e-卓越セミナー（第1回社会システムセミナー）」を兼ねさせていただきます。ご参加を検討いただければ幸いです。

主催 京都大学大学院 工学研究科 電子工学専攻 応用量子物性分野、京都大学 光量子センシング研究拠点
共催 都大学成長戦略本部、京都大学学術研究展開センター、京都大学大学院工学研究科、京都大学光量子センシング社会実装コンソーシアム、
京都大学卓越大学院プログラム 先端光・電子デバイス創成学、京都大学 機構SPRINGプログラム（量子分野）、株式会社 TLO 京都、公益財団法人 京都高度技術研究所（予定）
後援 公益社団法人 応用物理学会、公益社団法人 日本分光学会、一般社団法人 日本赤外線学会、一般社団法人 日本光学会（予定）

連絡先：京都大学　光量子センシング研究拠点　加賀田　075-383-2289　Email : ku-qleap-ws@qip.kuee.kyoto-u.ac.jp

締切：11.25 MON

定員：80名（現地）、300名（オンライン）程度 定員になり次第、申し込みを締め切ります。

〔イベント詳細と申込み〕 https://photonsensing.org/irqas/workshop/seminar05.html